

第27回府中病院薬薬連携研修会アンケート結果集計

日時：平成29年7月8日（土）15:30～17:30

場所：セミナーホール

参加者：計27名（アンケート回収 14名）

テーマ①：『感染症の検査について』

A：よくわかった（7人） B：だいたいわかった（7人）

C：あまりよくわからなかった（0人） D：わからなかった（0人）

未回答（0人）

【学生からのご意見】

- ・患者さんが来院されてからの検査の流れが、検査機器の種類や特徴を含めてとてもよくまとまっていて分かりやすかった。
- ・大学では実験などで見ていた培養や菌の写真などを見る事が出来てよかった。検査技師さんは細菌を同定するスペシャリストだなと感じた。
- ・適切な抗菌薬を決定するため、様々な検査法があることを知った。病態に合ったまた、適切な検査方法の選択が大切であることを知った。
- ・検査技師さんが在宅チームへ加わるという話を聞き、より在宅医療への興味を持った。
- ・大学の講義では学ぶ機会が少ないため勉強になった。
- ・写真が多く使われており、どのように評価しているのかが分かりやすかった。かなり経験が大きいものなのだと感じた。

【実習施設および他施設からのご意見】

- ・検査技師さんが在宅医療においてどのように関わっていくのか、詳細ができれば知りたい。

テーマ②：『感染症診療の原則』

A：よくわかった（8人） B：だいたいわかった（5人）

C：あまりよくわからなかった（0人） D：わからなかった（0人）

未回答（1人）

【学生からのご意見】

・相互作用や副作用は代表的なものから珍しいものまで、たくさんあるので、知識をしっかりとつけていかなければならないなと感じた。

・感染症治療において、医師が薬剤師に求めているものはどの部分なのかという話は、これからどのように勉強すべきかの指針になった。基本的な相互作用・毒性・アレルギーや耐性菌に対する医師の見解も聞くことができとても有益であった。

・ICTで抗菌薬について学んでいたが、相互作用など他にも注意する点はたくさんあるなと感じた。

・問診でアレルギーを聴取しても、実際は本当のアレルギーではないという事がとても印象的でした。誤ってアレルギーであると判断することで本来使用できる薬剤が使用できなくなる、という事を防ぐためにも正しい判別ができるようになりたいと感じた。

・感染症治療の流れのほかに、患者に対してどのように問いかけたらよいか勉強できた。

【実習施設および他施設からのご意見】

・症例問題もあり、私たちのすべき仕事を再確認できた。

・抗菌薬の処方には、不要なものもあることにこれから注意していきたい。

今後企画して欲しい内容などありましたら下記に記載してください。
(複数回答可・8名より回答)

